

“ASIA No.1”を目指す最新鋭工場



【工事概要】

工 事 名	ナメカワアルミ(株)神戸工場新築工事
工事場所	兵庫県神戸市西区見津が丘5丁目2-12
工 期	平成31年4月15日～令和2年4月30日
発 注 者	ナメカワアルミ株式会社
設 計	株木建設(株)一級建築士事務所
工事内容	工場棟：鉄骨造1階 事務所棟：SRC造3階 延べ床面積：2,863.06m ² 2.8t 天井クレーン 13台 2.5t 荷物用EV、乗用EV 各1台

日本のアルミ流通業者として、国内で初めてアルミの切断加工を生業とした滑川軽鋼(株)。

そのグループ会社であるナメカワアルミ(株)が将来の“ASIA No.1”を目指して新設する最新鋭工場である。

仕入れ・生産・保管・出荷・配送・サービスメンテナンスまで一貫した業務展開が可能な産業団地内に位置し、近くには神戸西ICもあり、神戸淡路鳴門自動車道と山陽自動車道を経て、東西南北全国に広がる広域幹線網に直結している。又、JR神戸貨物ターミナル駅や神戸空港、世界を結ぶハブポートの神戸港も近く、ビジネスの発展が期待される。



加工エリア・三次元測定室



3F フライスエリア



加工資材置場・切断エリア



1F 三次元測定機室

【設計部 コメント】

1階三次元測定機室、加工エリア、三次元測定室、3階フライスエリアに関してはアルミを精度よく加工するうえで室温20℃程度に保つ必要があったため、上記3つのエリアには空調設備を設ける計画としました。

また、外壁内側には断熱材、屋根はダブル折半とすることで室温が保ちやすく省エネルギーにも優れた計画としました。



建築事業本部 設計部
山岸健祐

本工事は、設計施工の案件でした。設計当初から神戸市関係部局との協議が難航し、鉄骨高力ボルト納期も6ヶ月かかる状況の中、予定通り着工できず息詰まる面もありました。着工し、工事も順調に進みましたが、総合プロットや仕上などがなかなか決まらない状況でした。

その中で、本社や大阪支店との社内協議を進め、発注者に掛合い、茨城の潮来工場まで打合せに行き、何とか無事契約工期限内に工事を完了することが出来ました。

引渡のタイミングでコロナ禍による緊急事態宣言が発令されたため、施主検査・引渡しは予定より2ヶ月先の令和2年6月となりましたが、施主検査の際には滑川社長よりお褒めの言葉と労いの言葉を頂き、感慨深い気持ちになりました。困難もありましたが、関係者皆様の連携協力のおかげで、乗り越えられたと思います。

この場を借りて感謝申し上げます。有難うございました。

